

II-展-P172 耐糖能異常妊娠における駆血負荷時の橈骨動脈
圧波形所見

三重大学医学部産科婦人科

吉田 純, 杉山 隆, 前田 洋一, 前川 有香,

日下 秀人, 豊田 長康

【目的】今回われわれは、橈骨動脈圧波形を記録し、駆血負荷を与えた際の変化について検討した。【方法】対象は、非妊娠健常女性9名、正常妊娠6名、糖尿病合併妊娠4名である。まず被検者の片側上肢体表から安静時の橈骨動脈圧波形を記録した。次いで対側上腕を成人用カフによる血圧計を用いて250mmHgの圧で5分間駆血した後解放し、駆血中から解放後約5分後まで橈骨動脈圧波形記録をおこない、橈骨動脈圧波形における2つのピーク (P1およびP2) の比 (Augmentation Index, 以下AIx, %)を安静時、駆血解放後それぞれで各群間で比較した。

【成績】安静時橈骨動脈 AIxは糖尿病合併妊娠群で高値となる傾向であり、駆血負荷後のAIxは低下は糖尿病合併妊娠群で低値である傾向を認めた。【結論】橈骨動脈圧波形記録により妊婦血管機能評価できる可能性が示唆された。